

- 茂原 MOTOWEST-GP 開幕戦 レースレポート -

(Text:JRSA Photo:H.Mashiko / H.Kawano)



- 接戦の開幕戦を制したのは2017年チャンピオン チーム赤蜻蛉 (粕谷・筒井組) -

予選

2018年3月4日(日)の開幕戦は新規参入チームを含めた合計8台がエントリー。
公式予選ではコースレコード保持者の#56 team TRS (小沼・富本組)が唯一の39秒台を記録。
続いて#47 Team ドルフィン (安田・一慶組)、#2 Team K2 (木下・栗原組)、2017年シリーズチャンピオンの#1 チーム赤蜻蛉 (粕谷・筒井組)は4番手からのスタートとなった。
#6 パワーパイプ RT (倉石・藤原組)はマシントラブルのため出走を取りやめた。



予選1位 team TRS(小沼・富本組)

決勝

決勝レースでは抜群のスタートを決めた Team K2 がポールショットを奪うが、すぐにチーム赤蜻蛉がトップを奪い得意の逃げ切りを狙う形となり、2位争いは Team K2 と Team ドルフィン、スタートに失敗し接触で大きく出遅れた team TRS が加わり3台の激しい争いが観客を沸かせる展開となる。

レースが動いたのは後半、周回遅れとなるマシンが現れリードを築いていたチーム赤蜻蛉と2位争いの差が詰まり上位4台が接近戦となった。周回遅れをパスするタイミングで抜け出したチーム赤蜻蛉と Team ドルフィンの2台がバトルを繰り返すも、最後まで一度もトップを譲らなかったチーム赤蜻蛉が優勝、2017年チャンピオンの力を見せ付けるレースとなった。3位には Team K2、4位には周回遅れの処理で遅れた team TRS が入った。新規参入の#21 筑波大学 側車部 (茂木・米田組)が初レースながら5位完走、ベストタイムでは上回ったものの#13 RT グリーンピース (大木・館岡組)は6位、#33 チーム カレン (田村・高山組)は7位で完走した。



優勝 チーム赤蜻蛉(粕谷・筒井組)



第2位 Team ドルフィン(安田・一慶組)



第3位 Team K2(木下・栗原組)